

令和5年度 会長特別プロジェクト 取組み内容（案）

＜テーマ（仮題）＞ 「土木の魅力向上プロジェクト」

【主旨】

土木学会では、JSCE2020において、4つの中期重点目標（安全・安心、国際、コミュニケーション、人材）を策定し、その実現に向け、種々の施策を実施している。過年度会長特別プロジェクトとして、令和3年度には、「コロナ後の土木のビッグピクチャー特別委員会」を設置し、土木の魅力を上昇させるような未来像（ビッグピクチャー）を描いた。令和4年度には、「土木グローバル化総合委員会」を設置し、我が国の土木技術者が国際的に活躍できるための取組みを進めている。

これらに続く、令和5年度の会長特別プロジェクトとしては、建設を主体として様々な形で「魅力ある土木の世界」を発信し、土木の認知度向上と土木技術者のステイタスアップを図る活動を実施したい。また、「多様な土木技術者の魅力」を伝えるため、土木技術者が活躍する場面の紹介や建設現場に焦点を当てた技術者の顔の見える化を通して、土木が社会に貢献する姿をわかりやすく世間に伝える取組みを考えたい。

インフラ整備はもちろんのこと、多発する自然災害への対応やカーボンニュートラルへの貢献など、多大な役割を期待されている土木の魅力を上昇させるとともに、土木の世界を広く社会に伝えることができればと思っている。

会長特別プロジェクトの活動内容が、継続的なものとなる様、取り組みたい。

【具体的内容（案）】・・・今後特別委員会等を組織して実施内容詳細を検討

① 「魅力ある土木の世界」の発信

- ・動画によるコンセプトムービーの制作・配信
- ・土木の魅力配信アンバサダーを選定し、多彩な情報発信を行う
- ・土木技術者、特に若手・女性等の多様な視点から、土木が社会に貢献する姿をわかりやすく世間に情報発信。
⇒ 土木の魅力向上と土木技術者のステイタスアップにつなげる。
- ・過去の優れた土木技術のアーカイブの掘り起こし、再評価の取組み

② 「多様な土木技術者の魅力」の発信

- ・土木技術者へのオーラルヒストリーやインタビュー記事の再評価・発信
- ・地域建設業、インフラメンテナンスの現場などに焦点を当てた技術者の顔が見える取り組みの実施
- ・学会員の様々な場面で土木の魅力を体現していただける機会の創出。
- ・学会内部の行事の魅力向上、会員特典の拡充の検討

【プロジェクト実施に向けた体制（案）】

- ・会長特別委員会として、「土木の魅力向上特別委員会（仮称）」を設置。
- ・その下に、2つの小委員会を設置する。

① 魅力ある土木の世界発信小委員会（仮称）

「土木の魅力」を再発見し、それを広く発信する取り組みを実施する。具体的には、下記の2つのWGを編成し、WG活動等を通じて魅力発信を行う。

<魅力発信WG>

- ・土木の魅力を広く社会に伝えるコンセプトムービーの制作
- ・土木の魅力発信アンバサダーを選定し、多彩な情報発信を行う

<アーカイブWG>

- ・過去のビッグプロジェクトを再評価し、次の世代に向けて発信する
- ・今の技術を将来にアーカイブできるような取り組みを検討する
- ・まずは、黒部関係（黒四・黒三・新黒三他）を取り上げる。
- ・その他、各支部でアーカイブできるプロジェクトを選定して活動

② 土木技術者ステイタスアップ小委員会（仮称）

土木技術者に焦点を当て、多様な視点から土木の魅力や技術者の能力向上、技術の継承などの課題について取組み、情報発信を行う。具体的には、2つのWGを編成して活動する。

<地域活性化WG>

- ・地域から発信する、「顔の見える土木」の推進
- ・インフラメンテナンス、技能者などにも焦点を当てた顔の見える取組み

<次世代育成WG>

- ・次世代（中高生やその親世代）が土木を目指すことを目標とした活動
- ・「土木とは」「土木技術者とは」何か？を伝える広報活動の実施

（実施体制（案））

